

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 坂下高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和7年1月24日(金) 13:30~15:30
- 3 開催場所 坂下高等学校リハビリ実習室  
開催にあたり、委員による探究成果発表会参観を実施
- 4 参加者

|        |       |                  |
|--------|-------|------------------|
| 会長     | 須栗 大  | 中京学院大学教授 連携推進部長  |
| 副会長    | 鎌田 則之 | やさか観光協会会長(欠席)    |
| 委員     | 半沢 岳彦 | 坂下まちづくり協議会理事     |
|        | 村田 純一 | 坂下公民館長           |
|        | 久野 智治 | 坂下中学校長           |
|        | 丹羽 達也 | 坂下小学校長           |
|        | 秋山 小枝 | 本校同窓会長           |
|        | 長瀬 愛  | 中津川市社会福祉協議会地域福祉課 |
|        | 伊藤あずさ | 地域住民             |
|        | 古田小百合 | 本校保護者代表          |
| オブザーバー | 森 益基  | 岐阜県議会議員(欠席)      |
|        | 成瀬 博明 | 中津川商工会議所専務理事(欠席) |
|        | 岩久 義和 | 中津川市教育長(欠席)      |
|        | 深津 広樹 | 中津川市定住推進部長       |
|        | 廣瀬 竜也 | 坂下総合事務所長(欠席)     |
| 学校側    | 田並 千穂 | 校長               |
|        | 足立 幸司 | 教頭               |
|        | 斎藤 良成 | 事務長              |
|        | 板津 裕也 | 教務主任             |
|        | 勝川 誠  | 生徒指導部長           |
|        | 酒井 雅代 | 進路指導部長           |
|        | 岡本 拓郎 | 地域探究科主任(欠席)      |
|        | 林 尚志  | 地域連携コーディネーター(欠席) |

## 5 会議の概要（協議事項）

### （1）令和6年度自己評価について

### （2）意見交換について

意見1：探究成果発表会は非常に興味深かった。高校生のプレゼンテーションは意図やデータがしっかりとしていた。自分たちの活動に自信をもっており、堂々と発表する事ができていた。教員がある程度お膳立てすると思うが、生徒自身がやったと思えるように進めもらいたい。

意見2：ゼミ活動に関わった経験がある。最初の入り口は教員であったが、その後は生徒とのやりとりで進めた。生徒が地域に出ることで、坂下のことを知ってもらえる良い機会になっている。

意見3：探究成果発表会では、プレゼンテーションでの見せ方の工夫が考えられるようになると良い。授業以外でも、生徒の好奇心に応じた進路指導ができると良い。

意見4：今回の探究成果発表会では、個々の発表であり、1年生は来年に向けて、2・3年生は見られているという意識でしっかりと取り組んでいる。課題を見つける力が一番大変で大切であるが、しっかりと見つけ出すことができている。またそれが意欲につながる。「咲明日高校マルシェ」では生徒の呼び込みの声や接客等の良さなど外から来ている人への対応が上手くなっている。生徒が外部からの刺激を受けて成長しているのが分かる。

意見5：校舎内ですれ違うとき、生徒は自然な挨拶ができており気持ちよかった。所作こそ社会に出たときに活かされる。実際に人と対面で触れ合うことが大切である。また、発表の方法をブースに変えたことで、多くの生徒にアウトプットする機会が与えられていた点が良かった。

意見6：生徒の発表する場があることは大切であり、そこから生徒が自信をつけていることが見て取れる。成功体験がマルシェでも感じられ、本日の発表でもそれを感じることができた。このような発表を地域のいろいろな人に見てもらうのも良いのではないかと。また生徒の活動を外で目にすることがあるが、地元を大切にしている活動は素敵である。インスタグラムなどを見ても、生徒が頑張っている様子が伝わってくる。

意見7：ゼミの種類が多くあるが、先生方の努力の成果である。先生方の地域とのつながりが生徒の地域とのつながりとなっており、毎年教育課程を見直していることから先生方の想いが伝わってくるが、またそれが生徒にも伝わっている。ゼミのテーマも多くあることが、好きなことを探究していける要因になっている。物事を根拠立てて探究していくことは大切であり、さらに力をつけていってもらえると良い。また発表から地元を大切にしていることが分かる。

### （3）スクールミッション策定について

### （4）オブザーバーから

意見1：先日開催された「咲明日高校マルシェ」もだが、生徒が生き生きとしており、自信をもって発表している姿がある。本校は年々進化していると感じられる。この地域では若者の定住が課題であるが本校が行っている取組はまさにその解決への第一歩である。地域を知ってもらい、地域を自慢に思うようになってもらうことが定住につながっていくと考える。デュアルシステム等様々な機会を通して地元を知ってもらうきっかけを継続してほしい。

## 6 会議のまとめ

- (1) 「咲明日高校マルシェ」「探究成果発表会」等を通し、生徒自ら主体的に活動している姿勢や、自信を持って取り組んでいる姿を評価された。地域探究科が3年目を迎え、本校の目指す探究活動が実を結んでいると考えられる。
- (2) 今後ともボランティア活動を含め地域との連携を密にし、「地域と共に、地域と育つ」をモットーとし、地域の協力を得ながらの教育活動を積極的に導入し生徒の成長につなげていきたい。また生徒が活躍している場面を地域の方々、中学生とその保護者等に効果的に発信し、本校の魅力を伝えていきたい。